



# 第42期事業報告書

平成14年8月1日～平成15年7月31日

# Creativity & Challenge

次世代パッケージを提案する  
包装システムのトータルプランナー

包装システムのトータルプランナー

 **ゼネラルパッカー株式会社**

# 株主の皆様へ

## ◆当期の経済環境と業績

当期におけるわが国経済は、上半期は米国を中心とした世界経済が減速傾向となる中、株価の下落やデフレの浸透等を背景にして、設備投資及び個人消費も回復しないまま、依然として低迷する厳しい状況で推移しました。また、下半期に入っても景気は依然として厳しい状況が続き、イラク問題、重症急性呼吸器症候群（SARS）の影響等もあって、先行きの不透明感が一層強まる状況が続きました。

包装機械業界におきましては、このような厳しいわが国経済の影響を受け、医薬・化学部門で一部設備投資意欲の回復が見られましたが、最大需要先の食品部門の設備投資意欲は個人消費の低迷に伴い低調なまま推移しました。また、世界経済が低迷する中、輸出の鈍化も強まり、業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような経済環境の中で、当社は積極的な営業活動とコストダウン、経費削減等の諸施策が功を奏し、増収増益を果たすことができました。

## ◆今後の見通しと対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、わが国の経済情勢は一部に持ち直しの兆しが見えるものの、世界経済も先行きの不透明感が続いている状況であります。また、内需では、今後の株価・長期金利の動向に留意する必要があり、設備投資及び個人消費の回復にはまだ時間がかかることが予想され、デフレ脱却は難しく、経済環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われます。

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第42期（平成14年8月1日から平成15年7月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、営業の概況及び会社の対処すべき課題をご報告いたします。なお、当期の配当金につきましては、株主の皆様への利益還元のため、1株につき60円とさせていただきます。

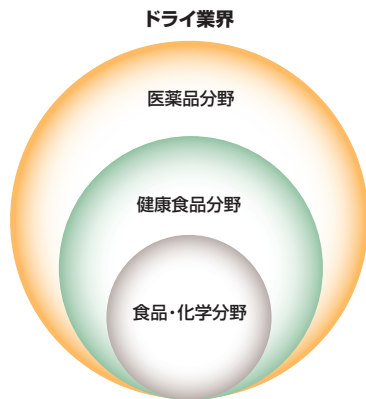
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

包装機械業界におきましては、引き続き設備投資が低迷する中で、受注価格の低下とともに受注競争が一段と激しくなり、企業間の資本取引、技術の移転・販売提携等が活発化してくるものと予想されます。

このような状況下で、当社といたしましては、次のような課題に対処してまいります。

- ① 新機種開発の強化とスピードアップ
- ② コストダウンによる価格競争力の強化
- ③ 営業力の強化と効率化の推進
- ④ 新戦略機種の水平展開
- ⑤ クレーム対応力の強化と顧客満足度の向上
- ⑥ コンプライアンス及びリスクマネジメント体制の強化

以上に掲げた事項を中心にして、あらゆる施策を推進し、業績の向上と企業の健全性に努めてまいります。



#### ◆株主の皆様へ

これまで取り組んできました「ドライ業界のオンリーワン企業を目指すためのペンタゴン経営」をさらに強力に推進するとともに、一層の高収益体質の確立を目指します。そして、持続的な成長を図るための新中期経営計画を策定し、推進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成15年10月

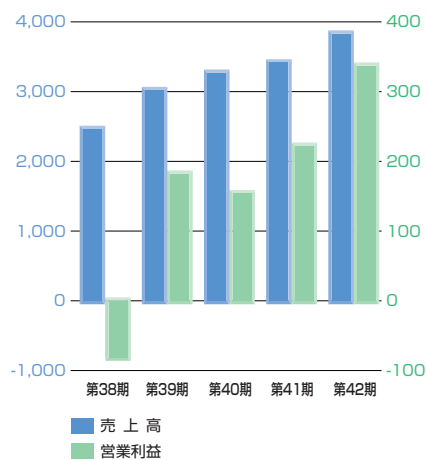
代表取締役社長 原 淳

(単位：百万円)

	第38期 (平成11年7月期)	第39期 (平成12年7月期)	第40期 (平成13年7月期)	第41期 (平成14年7月期)	第42期 (平成15年7月期)
売上高	2,461	3,019	3,268	3,414	<b>3,829</b>
営業利益	△81	182	154	222	<b>337</b>
経常利益	△78	160	159	233	<b>345</b>
当期純利益	△81	△31	80	109	<b>197</b>
総資産	3,187	3,807	3,659	3,757	<b>3,752</b>
株主資本	1,832	1,840	1,904	1,994	<b>2,153</b>

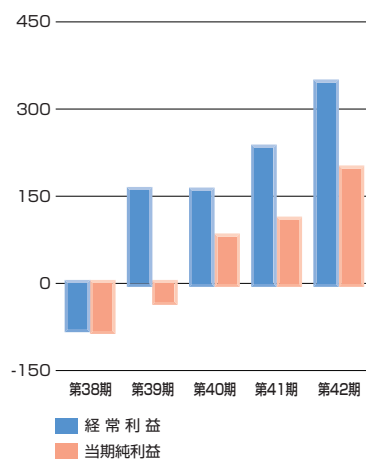
■ 売上高・営業利益

(単位：百万円)



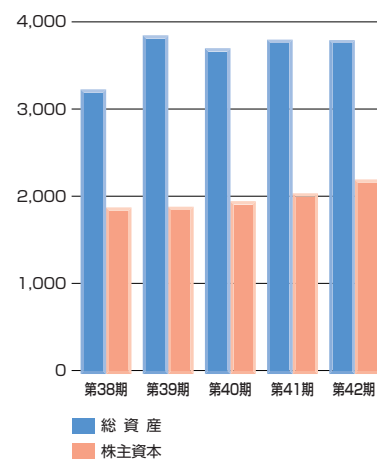
■ 経常利益・当期純利益

(単位：百万円)



■ 総資産・株主資本

(単位：百万円)



## ◆業績全般の概況

当社の営業活動におきまして、チャック付袋対応機種及び医療分野向け機種等の開発を進め、純新規取引先をはじめ、対象市場への重点拡販活動、オーストラリア及び東南アジアへの海外販売活動等、積極的な営業活動を推進してまいりました。また、業績先行管理の強化、コストダウン、経費削減等の諸施策を実施し収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は、高価格の新機種販売が好調に推移し、3,829百万円（前年同期比12.1%増加）と増収となりました。また、高利益機種の販売台数増加とコストダウン努力により利益率の改善が図れたこともあり、経常利益は345百万円（前年同期比48.2%増加）、当期純利益は197百万円（前年同期比79.2%増加）と大幅な増益となりました。

## ◆設備投資の状況

当期中において実施いたしました設備投資の総額は29百万円であります。そのうち主なものは、本社外装の改修、非常用自家発電設備の改修及びキュービクルの取替えであります。

## ◆製品の状況

前期に新機種として、チャック付ガゼット袋用給袋自動包装机355ST型、チャック付製袋・給袋兼用自動包装机2700C-GR型、横挿入式製袋自動包装机HV8LCL型等を完成

させましたが、当期におきましても、チャック付ガゼット袋用給袋自動包装机350ST型、チャック付スタンドパウチ用製袋自動包装机2700C-ST型、青果用給袋自動包装机VM6型の新機種を完成させました。

また、製薬会社向けの横挿入式製袋自動包装机HV8LLB・8LRB型包装システム、横挿入式給袋自動包装机HV8KR型包装システムを完成納入しました。

当期は、前期に引き続き需要業界の設備投資意欲が低調で、既存機種の販売台数が低迷しましたが、大手顧客の新商品開発投資向けへの新機種の販売が好調であったことにより、機械合計の販売台数は前年同期比3台の減少に留まりました。

給袋自動包装机及び製袋自動包装机は、新機種を中心に高価格機種の販売台数の増加と、製薬分野向けの大型包装システム用機種が堅調だったことにより、売上高はともに大幅に増加いたしました。

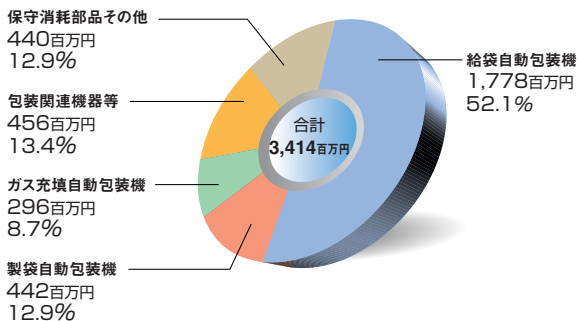
ガス充填自動包装机は、前期に比べて販売台数は横這いでしたが、高価格機種の販売台数が少なかったことにより、売上高はやや減少しました。

この結果、機械合計の売上高は前期に比べ15.5%増の2,906百万円となりました。

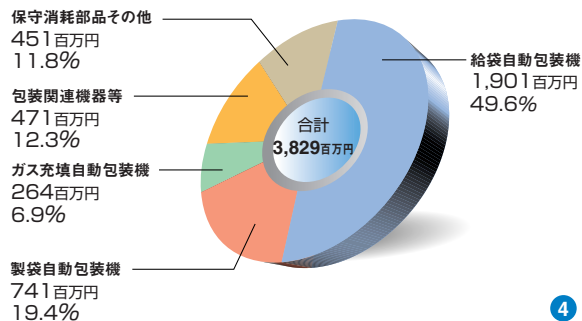
また、包装関連機器等及び保守消耗部品その他は、高額案件の受注が増加したことにより、売上高はともに前期を上回りました。

## ■品目別売上高構成比（単位：百万円）

第41期（平成14年7月期）



第42期（平成15年7月期）



## 取扱製品

### 給袋自動包装機

粉末から固形物まであらゆる充填物（米菓、キャンデー、ビスケット、スナック食品、穀類、豆類、ふりかけ、パン粉、各種海産物、小麦粉、きな粉、だんご粉、化学調味料、粉末薬品、機械・電気等の部品、その他袋詰可能な物）に対応できます。また、対象物、袋サイズ、袋形態の幅広いニーズに対応が可能です。



### 製袋自動包装機

充填物は、給袋自動包装機と同様ですが、小袋の高速包装から大袋用包装（精米、業務用スパゲティ、顆粒洗剤、化学調味料、輸液バック等）までの対応が可能で、包材はコストの安い各種のフィルムを使用ができます。また、包装システムライン化のための後工程機械との連動に適しています。



### ガス充填自動包装機

不活性ガス封入（花かつお、コーヒー、バターピーナッツ、お茶、ビーフジャーキー、カットチーズ、生パン粉等のガス充填包装対象物）により商品のシェルフライフを延長させることが可能です。



### 包装関連機器

当社包装機をシステム化するための周辺機器及び顧客の生産に必要な他社包装関連機器を取扱うことで、幅広い包装ラインの合理化・省力化に対応が可能です。



## 新商品紹介

### 大容量のチャック付ガゼット袋・スタンドパウチに対応した給袋自動包装機

#### GP-355STシリーズ



#### <商品の特長>

大容量(重量は最大4kg、袋サイズは最大300×480mm)のチャック付ガゼット袋・スタンドパウチに対応し、スピード包装に適した同調ジョーゴを標準装備した給袋自動包装機です。

ステーションも10工程用意し、様々な商品の包装に対応できます。回転数・温度設定・オプションの設定などがカラータッチパネル内の商品メニューから指示できます。

ペットフード、精米業界等への販売が好調であり、引き続き拡販に取り組んでいます。



### 新開発のチャック付スタンドパウチ製袋機を装備したハイエンドの製袋自動包装機

#### GP-2700C-STシリーズ



#### <商品の特長>

美しい仕上がりを維持しつつ、チャック付スタンドパウチに、より経済的に充填包装が行える製袋自動包装機です。

スタンドパウチ、チャック付四方袋、四方袋にも対応し、ユーザーの商品ラインナップの充実をサポートできます。

チャック付製袋装置とコンベア給袋装置を同時に兼ねそなえた、チャック付製袋・給袋兼用自動包装機GP-2700C-GR型も商品化しています。

コンビニエンス・ストア等向け商品の包装機として販売が好調であり、引き続き拡販に取り組んでいます。

## C O L U M N

### 本社外観を改装

本社・工場につきまして、一部外壁の老朽化が進んでいましたので、改修を実施するとともに、外観のリニューアルを実施しました。

今後、正面玄関の改装及び隣接地への新社屋建設等も計画しています。



## ■貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当期(第42期) 平成15年7月31日現在	前期(第41期) 平成14年7月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>3,212,280</b>	<b>3,233,863</b>
現金及び預金	1,113,364	1,419,963
受取手形	670,931	279,223
売掛金	425,615	510,029
原材料	374,049	383,148
仕掛品	389,245	481,139
貯蔵品	5,255	4,786
繰延税金資産	19,559	13,239
未収入金	205,526	139,181
その他	10,249	4,404
貸倒引当金	△ 1,518	△ 1,253
<b>固定資産</b>	<b>539,744</b>	<b>524,041</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>381,584</b>	<b>372,553</b>
建物	234,219	225,164
構築物	1,257	1,445
機械及び装置	3,922	4,190
車両運搬具	11	11
工具、器具及び備品	6,291	5,858
土地	135,882	135,882
<b>無形固定資産</b>	<b>2,822</b>	<b>1,847</b>
ソフトウェア	1,289	314
その他	1,532	1,532
<b>投資その他の資産</b>	<b>155,337</b>	<b>149,641</b>
投資有価証券	23,542	23,338
破産再生更生債権等	—	135
繰延税金資産	107,039	105,112
その他	24,756	21,123
貸倒引当金	—	△ 67
<b>資産合計</b>	<b>3,752,024</b>	<b>3,757,905</b>

科 目	当期(第42期) 平成15年7月31日現在	前期(第41期) 平成14年7月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,324,432</b>	<b>1,500,511</b>
支払手形	738,698	920,774
買掛金	181,668	190,888
一年内償還予定社債	—	100,000
未払金	21,782	12,820
未払費用	33,863	22,396
未払法人税等	109,887	63,391
未払消費税等	26,645	11,268
従業員預り金	136,979	139,327
賞与引当金	22,541	21,233
その他	52,365	18,410
<b>固定負債</b>	<b>274,062</b>	<b>262,575</b>
退職給付引当金	28,312	26,575
役員退職慰労引当金	245,750	236,000
<b>負債合計</b>	<b>1,598,494</b>	<b>1,763,086</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>155,000</b>	<b>155,000</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>135,000</b>	<b>135,000</b>
資本準備金	135,000	135,000
<b>利益剰余金</b>	<b>1,862,631</b>	<b>1,704,062</b>
利益準備金	11,000	7,000
任意積立金	1,600,000	1,550,000
別途積立金	1,600,000	1,550,000
当期末処分利益	251,631	147,062
<b>株式等評価差額金</b>	<b>897</b>	<b>756</b>
<b>資本合計</b>	<b>2,153,529</b>	<b>1,994,818</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,752,024</b>	<b>3,757,905</b>



## ■ 損益計算書

(単位：千円)

科目	当期(第42期) 平成14年8月1日から 平成15年7月31日まで	前期(第41期) 平成13年8月1日から 平成14年7月31日まで
<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
営業収益	3,829,059	3,414,922
売上高	3,829,059	3,414,922
営業費用	3,491,187	3,192,464
売上原価	2,724,073	2,463,662
販売費及び一般管理費	767,113	728,801
営業利益	337,871	222,458
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益	9,022	13,991
受取利息	323	396
受取配当金	418	355
相互会社持分譲渡益	—	8,851
雑収入	8,281	4,388
営業外費用	1,501	3,385
支払利息	1,501	2,664
雑損失	—	720
経常利益	345,393	233,064
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	—	847
貸倒引当金戻入益	—	847
特別損失	1,469	42,369
投資有価証券評価損	—	39,644
その他特別損失	1,469	2,724
税引前当期純利益	343,923	191,542
法人税、住民税及び事業税	155,183	90,458
法人税等調整額	△ 8,308	△ 8,852
当期純利益	197,049	109,936
前期繰越利益	54,582	37,125
当期末処分利益	251,631	147,062

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期(第42期) 平成14年8月1日から 平成15年7月31日まで	前期(第41期) 平成13年8月1日から 平成14年7月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 192,535	285,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,583	△ 39,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 103,480	△ 3,480
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△ 302,599	242,320
現金及び現金同等物の期首残高	1,415,963	1,173,643
現金及び現金同等物の期末残高	1,113,364	1,415,963

## ■ 利益処分

(単位：千円)

科目	当期(第42期) 平成15年度7月期	前期(第41期) 平成14年度7月期
当期末処分利益	251,631	147,062
合計	251,631	147,062
これを次のとおり処分します。		
利益準備金	—	4,000
利益配当金	3,480	3,480
(1株につき60円)		
役員賞与金	45,000	35,000
(うち監査役)	(1,500)	(1,000)
別途積立金	100,000	50,000
次期繰越利益	103,151	54,582

(注) 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び利益処分の記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## ■会社概要 (平成15年7月31日現在)

社 名 ゼネラルパッカー株式会社  
 英 文 社 名 GENERAL PACKER CO., LTD.  
 設 立 昭和36年12月  
 資 本 金 1億5,500万円  
 事 業 内 容 各種自動包装機・荷造用機械及び  
 周辺装置の製造・販売・修理、  
 それに附帯する一切の業務  
 従 業 員 数 95名  
 本 社 ・ 工 場 〒481-8601  
 愛知県西春日井郡西春町大字宇福寺字神明65番地  
 Tel. (0568)23-3111  
 Fax. (0568)22-3222



本 社

東 京 営 業 所 〒101-0041  
 東京都千代田区神田須田町1-14-6  
 神田荒木ビル7F  
 Tel. (03)3256-3891  
 Fax. (03)3256-3893

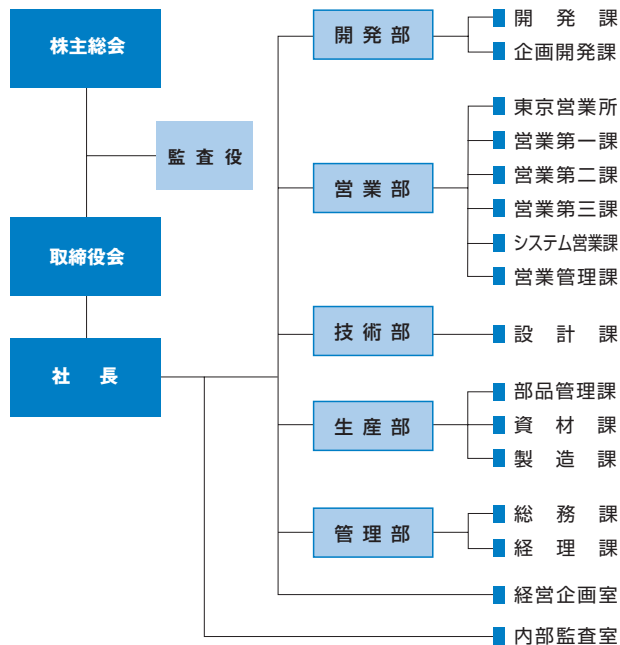


東京営業所

## ■取締役及び監査役 (平成15年10月27日現在)

代表取締役 社 長	原	淳		
専務取締役	池	澤	晃	管理部長
常務取締役	安	江	禎	治 技術部長
常務取締役	倉	知	泰	助 生産部長
取 締 役	島	末	孝	法 開発部長
取 締 役	梅	森	輝	信 営業部長
常勤監査役	新	實	敏	二
監 査 役	村	橋	泰	志

## ■組織図 (平成15年7月31日現在)



## 株式の状況 (平成15年7月31日現在)

会社が発行する株式の総数	200,000株
発行済株式総数	58,000株
株主数	35名

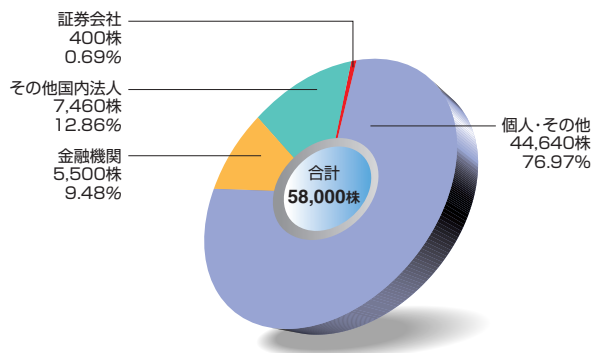
### 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
高野 まさ子	8,800	15.3
従業員持株会	7,300	12.7
りそなキャピタル株式会社	6,500	11.3
原 淳	5,200	9.0
株式会社りそな銀行	2,800	4.8
高野 季久美	2,600	4.5
田中 かな	2,600	4.5

## 株主メモ

決算期	7月31日
定時株主総会	10月
基準日	7月31日 その他あらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日	利益配当金 7月31日
名義書換代理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 Tel. (03)3668-9211 (代表)
同取次所	日本証券代行株式会社各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

## 所有者別株式分布状況



## ホームページをご活用ください。

当社ホームページでは、  
新着情報、会社情報、商品情報、  
採用情報等、様々な情報をご提供しています。

商品情報のページでは、  
性能から商品を検索できるサイトも  
ご用意しています。

今後も皆様にお役にいただけるよう  
掲載情報の一層の充実を  
図ってまいります。



<http://www.general-packer.co.jp/>

包装システムのトータルプランナー

 **ゼネラルパッカー株式会社**

### 本社・工場

〒481-8601 愛知県西春日井郡西春町大字宇福寺字神明65番地  
Tel. (0568)23-3111(代) Fax. (0568)22-3222

### 東京営業所

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-14-6 神田荒木ビル7F  
Tel. (03)3256-3891(代) Fax. (03)3256-3893



環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

**R100**